2010年度

科目名	日本語日本文学特殊講義ＩＢ				
担当教員	宇都宮　啓吾				
配当	日文3			コード	24140
開期	後期	講時	火曜日4限	単位数	2
授業テーマ	訓点資料について理解し、その応用としての古写本分析の視点や方法を習得する。				
目的と概要	日本語学の視点から、様々な典籍の分析を行なう。特に、文化財調査の分析視点としても重視される訓点語学（漢文訓読）の問題を取り扱い、文化史的な方向へも発展させる。				
成績評価法	テスト(80%)と平常点(20%)で総合的に評価します。（全講義数の2/3以上出席することが前提であり、出席するだけで平常点が得られるわけではありません。「履修に当たっての注意・助言」を参照のこと。）				
テキスト	特に指定しない。				
参考書	特に指定しない。講義中に紹介する。				
履修に当たっての注意・助言	学則に従って出席（遅刻・早退等については便覧を参照のこと）を取ります。全講義数の2/3以上出席することが前提ですが、単に出席だけでなく、まじめに講義を受けることが基本です。特に、他の人の迷惑になる私語や受講放棄のような内職・居眠り等については、欠席と同様に扱います。教員としては、授業の流れや雰囲気を壊したくないために、できれば不真面目な学生への注意は最小限に留めたいと考えていますが、問題と考えられる場合には注意します。その場合、3回を以って、当該学生は受験停止とします。				

講義計画

1 オリエンテーション
2 典籍分析の視点：発心集を巡る問題
3 訓点資料の研究史(1)：訓点資料の概説
4 訓点資料の研究史(2)：訓点語の概説
5 訓点資料の分析(1)：法会を巡る問題（中尊寺経）
6 訓点資料の分析(2)：地方写経の訓点
7 訓点資料の分析(3)：「来し方」を巡る問題
8 訓点資料の分析(4)：ヲコト点の概説
9 訓点資料の分析(5)：ヲコト点の概説
10 訓点資料の分析(6)：対外交渉を巡る問題（義天版）
11 訓点資料の分析(7)：対外交渉を巡る問題（宝幢院点）
12 聖教の調査
13 講義のまとめ(1)：訓点資料研究の課題
14 講義のまとめ(2)：講義の補足・質問対応
15 総括